

大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業

「事業名:リスク・コミュニケーション工学を活用した復興学による浪江町創成 |
～イノベーション・コースト構想の実現に向けて～」
2019年度補助事業の実績・成果

東京工業大学 連携市町村:浪江町

連携市町村との協定締結日:平成30年10月23日 現地拠点:双葉郡浪江町 浪江町役場内

事業のポイント

本事業では、福島復興へ向け、リスク・コミュニケーション工学、除染科学、ロボット計測工学を融合し「復興学」という新しい学問領域を構築し、大学等の研究者ネットワークを活用して知の実践・集積を図り、大学院生実習や小中学校理科・ロボット・文化教室支援等を通して人材育成を行い、地域企業・自治体等と協力し産業振興に資する。

今年度の活動実績

- ・ リスク・コミュニケーション工学の学術基盤研究の推進
- ・ 大学生(大学院生含む)の教育活動:リスク・コミュニケーション工学実習(超音波探傷、ロボット計測)の実施
- ・ 新たな取り組みとしてのリスク・コミュニケーション工学の水産分野(食の風評被害)への知の波及効果検討
- ・ 福島大学の研究者と連携してMCF(Magnetic Compound Fluid)を用いたロボット用センサの開発研究
- ・ 復興学研究発表会(リスク・コミュニケーション工学研究会、前期・後期)の実施
- ・ 本事業活動で得た研究・教育成果の一部を国内外へ向け講演会等で発信
- ・ 住民向け廃炉相談窓口出展
- ・ 浪江町仮設商業施設まち・なみ・まるしえのまるしえの日および浪江町の夏祭りにて復興学ブース出展
- ・ 復興なみえ町十日市祭での理科教室の出展
- ・ 「福島復興学」の実学として社会試験すべき産官学共同事業の可能性の探索
- ・ 他機関研究者と浪江町にてリスク・コミュニケーション工学の知の集積を図る活動の実施 など
(大学等研究者間連携ネットワーク形成の推進)



復興なみえ町十日市祭での理科教室の出展



食の風評被害の調査研究

今年度の成果

2019年度は浪江町と連携して「住民向け廃炉相談窓口出展」「浪江町仮設商業施設まち・なみ・まるしえのまるしえの日および浪江町の夏祭りにて復興学ブース出展」「復興なみえ町十日市祭での理科教室」、「リスク・コミュニケーション工学実習(超音波探傷・ロボット計測)」、「復興学研究発表会(リスク・コミュニケーション工学研究会)」、新規ロボット教室創案などの現地活動を実施した。また、学内「環境月間特別講演会」「研究交流・発表会」「地球環境保全と原子力発電所利用に関する日台シンポジウム」、その他、学内講義、国際会議などで、本事業活動で得た研究・教育成果の一部を国内外へ向け発信した。本年度の新たな取り組みとしてリスク・コミュニケーション工学の水産分野への知の波及効果についても検討した。さらには、他機関研究者との連携を通じて知の集積・大学等間ネットワーク形成の促進を行った。本年度に得た知見をもとに、最終年度、大学の有する知の社会実装(産業振興)検討を含め、本事業活動をさらに発展・拡充させる予定である。



復興学研究発表会(リスク・コミュニケーション工学研究会)